

和

日本漢字能力検定協会が今年の漢字を14日に発表しました。「密」でした。どうしても3密のイメージが強いですが、濃密な1年でもあったのかと感じています。これまでの当たり前が通用しないからこそ、withコロナならではの生活スタイルを確立するために全員で考え、試行の繰り返し。休まることがなかったかもしれませんが、それだけ濃密な1年だったのではないのでしょうか。これから先がどうなっていくか分からず「来年のことを言えば鬼が笑う」とも言いますが、明るい話題が日本に、そして世界に広がることを願って年を越したいと思います。みなさんにとって、良いお年をお迎えください。

スポーツ大会(バドミントン大会)

中間考査が終わった翌日12月4日に高校体育館にてスポーツ大会が催されました。男女それぞれ2つのリーグに分かれ、先鋒・中堅・大将とペアで出場し、他クラスと対戦を行いました。白熱する試合が多いなかでも、感染予防のためラケットでのハイタッチや拍手のみの応援でしたが、冷えた体育館は選手の熱気ですぐに温まりました。結果は、A組が黄リーグ優勝、B組が青リーグ・緑リーグ・赤リーグ優勝に加え総合優勝をも勝ち取りました。体育大会では悔しい思いをしましたが、見事スポーツ大会では雪辱を果たしました。



第5回漢字テスト(満点者)

A組	B組	学年平均点
浅原・宇城・栗原・永井・中北・中山	楠木・西尾・藤田	92.2

1月13日(水)には第5回英単語テストがあります。

人権学習を終えて

12月10日が世界人権デーであることを受けて、14日5・6限目に人権学習を行いました。2年生のテーマは、部落差別問題学習。歴史の授業で江戸時代に身分制度が確立されてから、解放令や水平社宣言を経た現在でも部落差別が存在し、苦しい思いをしている方々がいることを知り、そのことを踏まえて私たちにできることは何なのかと考えました。初めは「過去のこと」という認識でしたが、授業が進むにつれ、多くの生徒が「現在も根強く残っている部落差別を、次世代の中心となる自分たちが無くしていく姿勢を持たなければならない」と強く感じるようになりました。併せて、「正しい知識を持たなければ、知らず知らずの内に自分たちも差別をしてしまう恐れがある。だからこそ知り得た情報を鵜呑みにせず、自身で責任を持って判断する力が必要になる」とインターネット上に流れる情報の取捨選択の大切さにも気づくことができました。

また、授業後には、「名前や見た目で判断するのではなく、その人自身をじっくり見つめていきたい。」「当事者の苦しみをきちんと理解するために、今の私たちの世界について学ばなければならない。」「悪気のない言動でも嫌だと感じる人はいるので、改めて発信する前の立ち止まりの大切さが分かった。」「知らず知らずのうちに誰かを苦しめることがないように、しっかりとコミュニケーションをとる必要がある。」などの感想を抱いていました。

これからも、差別をしない・差別をなくすために勇気を持って指摘し合い、私たちにできることを考え、発信し続け、そして誰一人として取り残さない世界にしていきたいと思います。



1月の行事予定

12日(火)	頭髪服装指導・午前のみ	23日(土)	振替授業日(1月16日分)
13日(水)	第5回英単語テスト	24日(日)	第3回英語検定 一次試験
15日(金)	第4回実力テスト	28日(木)	高校入試前日準備のため休校
16日(土)	振替休日(1月23日分)	29日(金)	高校入試のため休校
19日(火)	百人一首大会・いじめアンケート		